

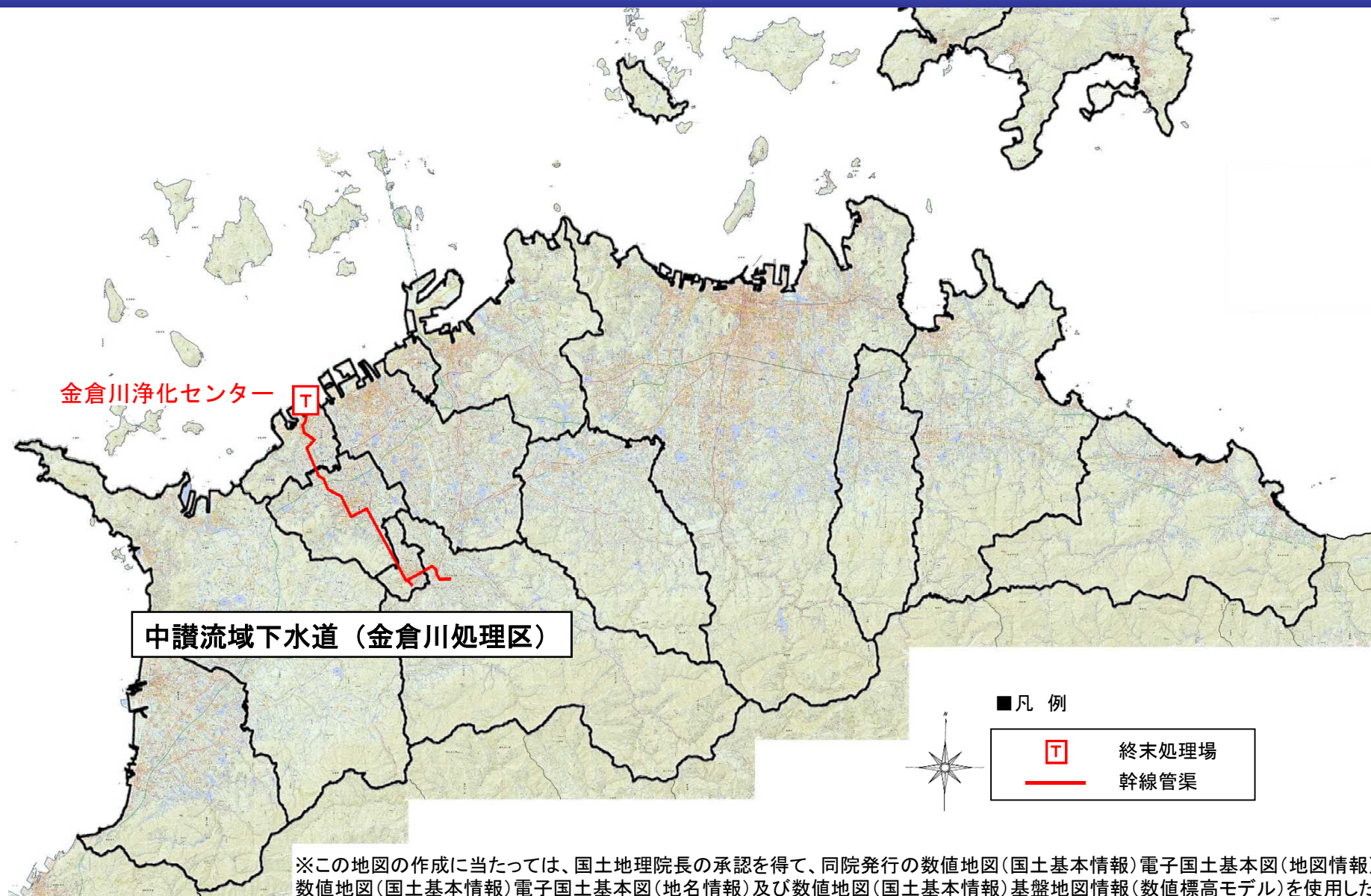
再 評 価 対 象 事 業

社会資本整備総合交付金事業
(流域下水道事業)

中讃流域下水道 (金倉川処理区)

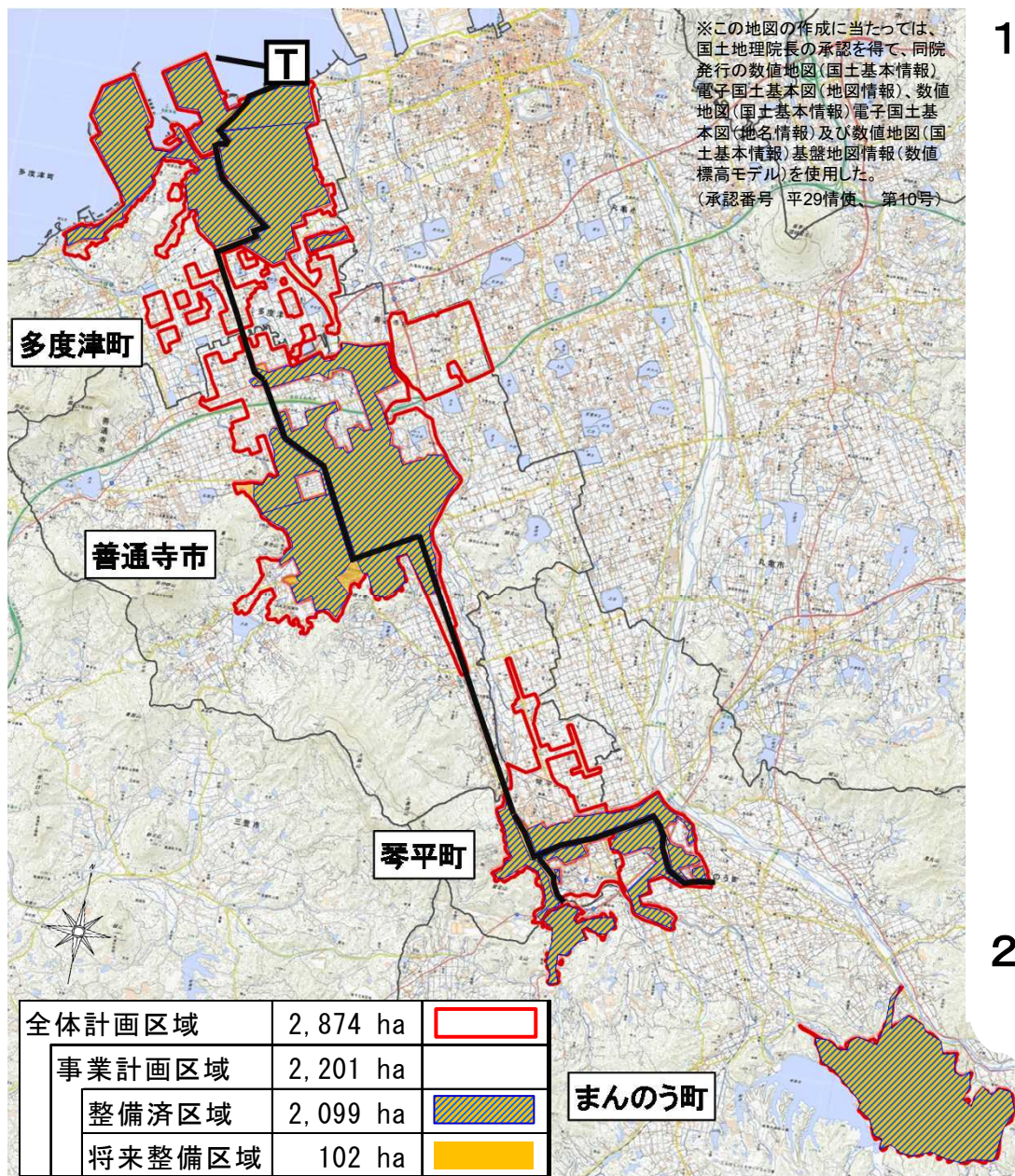
土木部 下水道課

1. 事業概要（位置図）



※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)、数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)及び数値地図(国土基本情報)基盤地図情報(数値標高モデル)を使用した。(承認番号 平29情使、第10号)

2. 事業概要（管渠の整備状況）



1) 整備状況

① 処理区全体の整備状況

- ・ 昭和58年度（1983年）に事業着手
- ・ 平成 2年度（1990年）に供用を開始

② 幹線管渠の整備状況

- ・ 平成 6年度（1994年）に、全延長 19.6 km が完成

③ 市町の整備状況

市 町 名	整備面積 (※1)	処理人口 (※2)	普及率 (※2)	処理水量 (日平均) (※1)
普通寺市	793 ha	19,033 人	58.7 %	5,381 m3/日
多度津町	622 ha	14,491 人	61.3 %	4,838 m3/日
琴平町	146 ha	4,419 人	47.0 %	2,061 m3/日
まんのう町	538 ha	2,413 人	14.4 %	814 m3/日
合計	2,099 ha	40,356 人	49.1 %	13,094 m3/日

※1 H29年度末時点の値

※2 現時点で非公表につきH28年度末時点の値

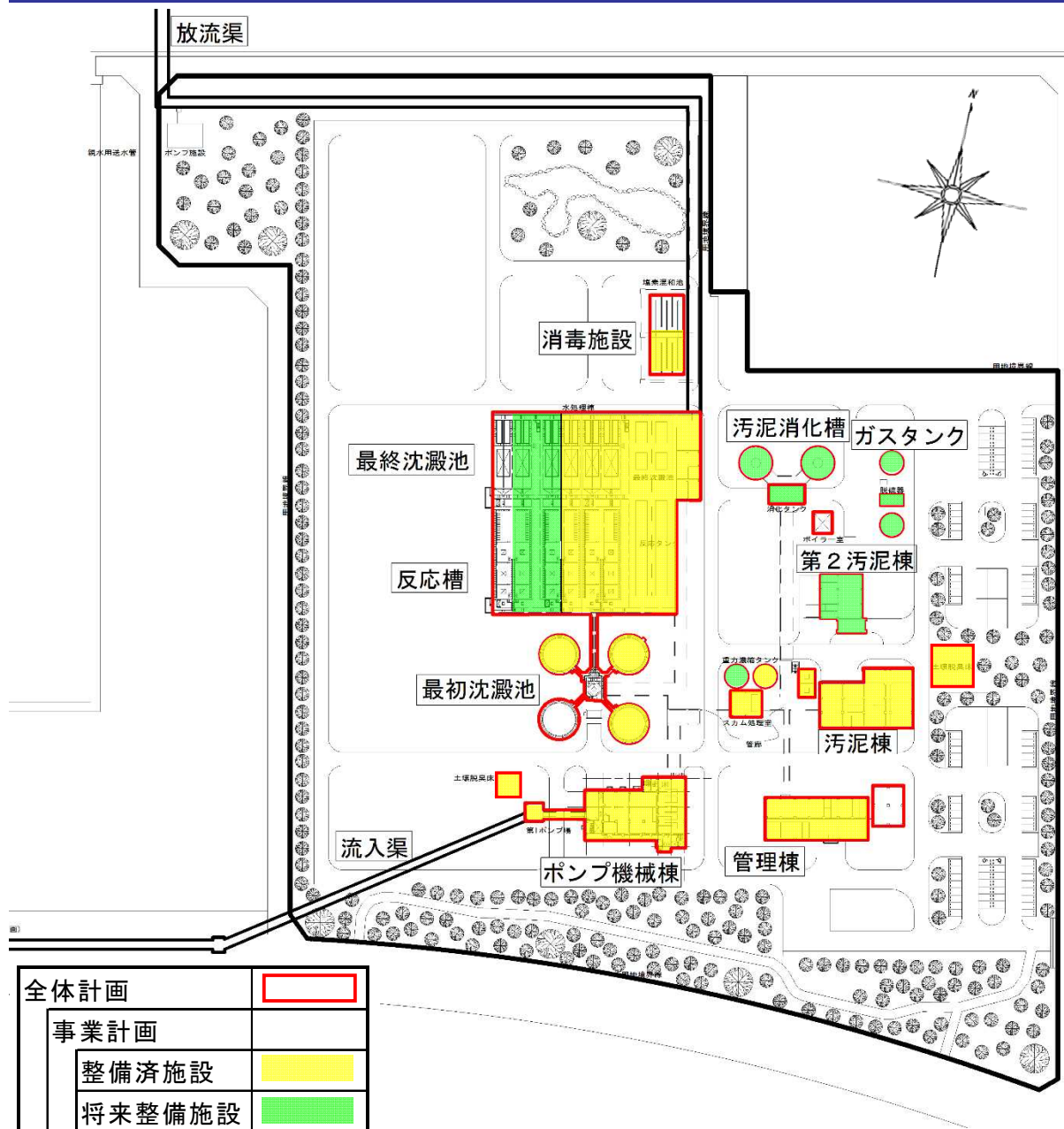
2) 進捗率（平成29年度末）

○ 事業計画に対する面整備率

$$2,099 \text{ (ha)} \div 2,201 \text{ (ha)} = \underline{95 \%}$$

[整備済区域面積] [事業計画区域面積] [面整備率]

3. 事業概要（浄化センターの整備状況）



1) 整備状況

- 事業計画は 7 池
- 現在 5 池が整備済
- 現有処理能力は
 $4,000 \text{ (m}^3 / \text{1 池)} \times 5 \text{ 池}$
 $= 20,000 \text{ (m}^3 / \text{日)}$

2) 現在の取り組み

- 計画的な老朽化対策
- 施設の耐震対策

区分	全体計画	事業計画 (H31)
処理能力	32,600 (m ³ /日)	28,400 (m ³ /日)
系列数	8/8	7/8
処理場面積	11.1 (ha)	11.1 (ha)
事業費	—	272 億円
現有施設	20,000 (m ³ /日) (5/8系列)	

4. 対応方針（案）

金倉川浄化センター全景



最初沈澱池



反応槽



汚泥脱水施設



流域下水道事業の必要性

- 将来にわたり、公共用水域の良好な水質を確保し続けることが下水道の使命
- 流域下水道事業は、複数市町から出る生活排水などの処理を行っており、海や川などの水質保全に必要不可欠な、極めて公共性の高い重要な事業



進めるべき方向性・留意点

- 下水道整備の進捗や人口減少などを十分に踏まえた柔軟な計画策定と施設整備
- 終末処理場や幹線管渠など、施設の老朽化及び耐震化への遅滞なき対応



公共用水域の水質確保のため、事業の 継続 が必要